

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	167	2年	後期	看護学科	必修	保健医療福祉行政論（共通） Health, Medicine and Welfare Administration	30	2
担当教員								
竹之内 直人*	未定*			未定*	未定*	未定*	未定*	未定*
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
看護職・社会人として必要な保健医療福祉分野の諸制度を学び、仕事や社会生活に生かす。								
到達目標（授業目標）								
1 社会的背景を理解した上で、保健医療福祉の法制度や理念の変遷、政策の概要を説明できる。								
2 保健医療福祉行政の理念及び行政の役割、愛媛の保健所の変遷を理解できる。								
3 保健医療福祉行政の施策への住民参加と、計画策定・実施・評価のサイクルを理解できる。								
4 地域における社会福祉の援助と技術を理解し、地域福祉計画や福祉コミュニティの形成を考える。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	保健医療福祉行政の理念：保健医療福祉行政および財政の理念と仕組み、国・地方自治体の財政、予算の機能と原則（竹之内）							
2回	地域保健法と地域保健体系：旧保健所法から地域保健法へ、愛媛の保健所の歴史、関係機関の機能・役割（竹之内）							
3回	医療法と保健所：地域医療構想（ビジョン）、医療計画の6事業、愛媛県の医療圏、地域保健医療計画、立ち入り調査（竹之内）							
4回	保健医療福祉制度と政策、法規と概念の変遷①：健康日本21、健康増進法、がん対策基本法（竹之内）							

5回	保健医療福祉制度と政策、法規と概念の変遷②：精神保健福祉法と精神保健対策、自殺対策、依存症対策（竹之内）
6回	保健医療福祉制度と政策、法規と概念の変遷③：感染症法・予防接種法と感染症対策（竹之内）
7回	保健医療福祉制度と政策、法規と概念の変遷④：健康危機管理と関係法規（竹之内）
8回	保健医療福祉政策の企画から実施・評価まで：地方公共団体の保健医療福祉計画の種類、計画策定プロセス・実施と評価、住民参加（竹之内）
9回	地域共生社会と地域福祉：地域福祉の概念や発展過程、社会福祉協議会の役割・機能を学ぶ（未定）
10回	生活困窮者支援とコミュニティソーシャルワーク：生活困窮者自立支援制度等の理解と「個」を「地域」で支える実践事例を基にした方法を学ぶ（未定）
11回	相談援助の理論と方法：ソーシャルワークに必要な価値と倫理の意味を理解し、対人援助の技術を学ぶ（未定）
12回	児童福祉が取り組む課題：児童福祉の歴史や理念、児童虐待への取り組みを学ぶ（未定）
13回	権利擁護と成年後見制度：権利擁護の理解と成年後見制度等について学ぶ（未定）
14回	多職種連携とネットワーク形成：医療・保健・福祉の専門職やNPO・市民活動等との地域連携について学ぶ（災害時の福祉的支援も含む）（未定）
15回	住民参加と福祉コミュニティづくり：福祉教育や地域福祉に関する計画を通じた福祉コミュニティ形成について学ぶ（未定）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
前半：筆記試験（60%）、後半：レポート（40%）。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	野村陽子・加藤典子編：保健医療福祉行政論、医学書院
参考図書等	図説国民衛生の動向2021/2022
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）	
関連科目	
前科目	166 社会保障制度論（共 170 公衆衛生学（共通）
後科目	
実務家教員	
医師（行政機関）	竹之内 直人*

備考	
----	--